

古文の特徴をつかむ

〔知識・技能〕

やってみよう

一次の語をそれぞれ現代仮名づかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

- (1) 言ふ (2) 言へども
- (3) あはれに (4) やうやう
- (5) かうかう (6) こゑ
- (7) 書かむ (8) をかしき
- (9) まうで (10) むど

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

今は昔、竹取の翁おきなといふ者ありけり。(A)野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さめきのみやつことなむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば三寸ばかりなる人(B)、いとうつくしうて あたり。

(1) ~~~~~線

の語を現代仮名遣いに直して、すべてひらがなで書きなさい。

--	--	--	--

(2) (A)には、主語が省略されていますが、補うとしたら何になりますか。次のア〜ウの中から、適切なものを一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 翁 イ 三寸ばかりなる人 ウ 竹

(3) (B)には、助詞が省略されていますが、補うとしたら何になりますか。次のア〜ウの中から、適切なものを一つ選んで記号で答えなさい。

- ア に イ が ウ を エ と

(4) 線——線の古語の現代語訳として適切なものを、それぞれア〜エの中から選んで記号で答えなさい。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ウア 非常に ア 疑って ウ 不思議に思っ | <ul style="list-style-type: none"> エイ 驚いて イ うれしくなっ エ ますます |
|---|--|

--	--